

2017年2月期
決算説明会資料
2017年4月20日

PAL GROUP HOLDINGS

株式会社パルグループホールディングス 証券コード:2726

SMILE
IS
POWER.

社員と株主みんなの幸せのための経営



SMILE
IS
POWER.

PAL GROUP HOLDINGS

目次

財務報告 2

2017年2月期 決算概況 3

2018年2月期 業績見通し 15

経営ビジョン 17

トピックス 20

株主様への対応 26



SMILE
IS
POWER.

PAL GROUP HOLDINGS

財務報告

2017年2月期 決算概況
2018年2月期 業績見通し



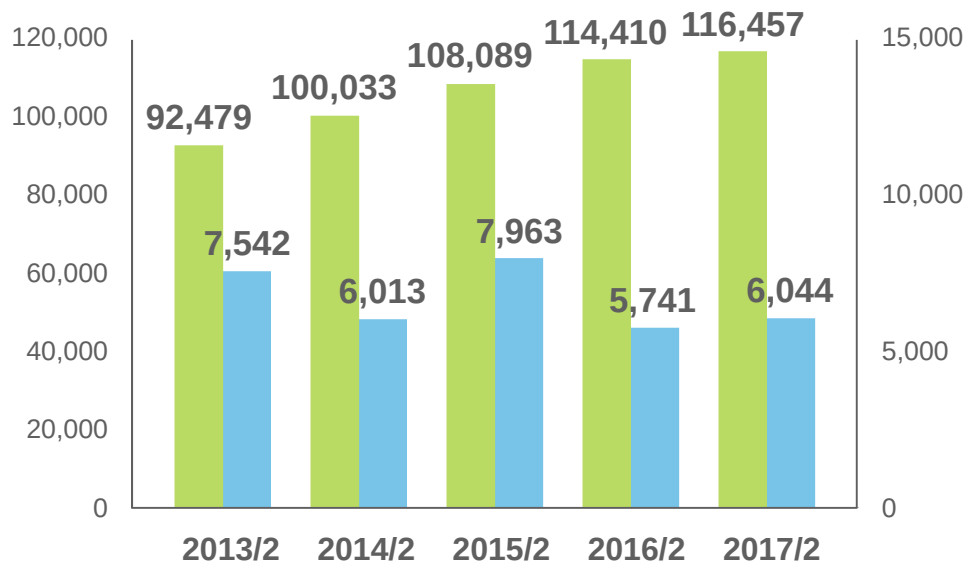
前期を振り返って

- **売上高**：消費マインドの冷え込みにより、雑貨業態の健闘はみられたが、衣料に対する消費が弱く、また出店も抑制的であったが、厳しい環境の中でも増収を確保。
- **利益率**：生産プラットフォーム化の推進により、型数の絞込みとロットの集約による調達先の集約と、4週間MDによる仕入数量のコントロールにより、粗利率は、前期比1.1ポイントの改善。特に、下期からは前年同期間比2.2ポイントの大幅改善を実現した。

連結

■ 売上高 ■ 経常利益

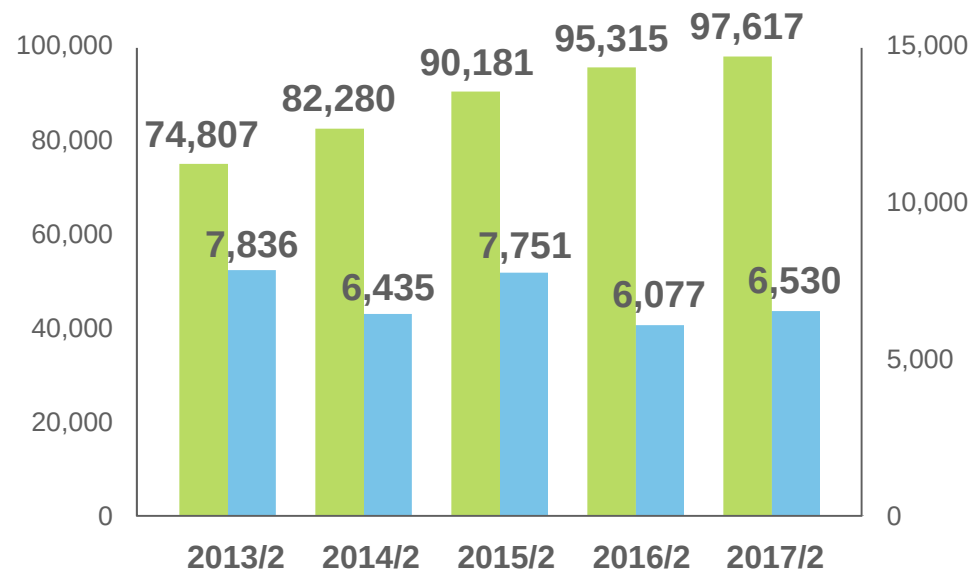
単位:百万円



(株)パルグループホールディングス単体 + (株)パル

■ 売上高 ■ 経常利益

単位:百万円



2017年2月期 (株)パルグループホールディングス連結損益状況 PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

	2016年2月期	2017年2月期			
		公表値	実績	前年比	公表値比
売上高	114,410	121,490	116,457	101.8%	95.9%
売上総利益	62,852	68,718	65,303	103.9%	95.0%
(売上比)	54.9%	56.6%	56.1%	—	—
営業利益	5,828	7,940	6,164	105.8%	77.6%
(売上比)	5.1%	6.5%	5.3%	—	—
経常利益	5,741	7,650	6,044	105.3%	79.0%
(売上比)	5.0%	6.3%	5.2%	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,288	4,420	3,071	93.4%	69.5%
(売上比)	2.9%	3.6%	2.6%	—	—

- ECを牽引役に、市場ニーズに合わせた価格戦略商品を投入後、売上回復。
- 2016年2月期には、株式会社ナイスクラブの完全子会社化による負ののれん発生益507百万円、「ASOKO」業態の事業譲受による負ののれん発生益47百万円合計552百万円の特別利益があったため、2017年2月期は親会社株主に帰属する当期純利益は、見かけ上減益。

単位:百万円

	2016年2月期	2017年2月期			
		公表値	実績	前年比	公表値比
売上高	95,315	101,060	97,617	102.4%	96.6%
売上総利益	53,084	57,805	55,464	104.5%	96.0%
(売上比)	55.7%	57.2%	56.8%	—	—
営業利益	6,137	7,580	6,661	108.5%	87.9%
(売上比)	6.4%	7.5%	6.8%	—	—
経常利益	6,077	7,340	6,530	107.4%	89.0%
(売上比)	6.4%	7.3%	6.7%	—	—
当期純利益	3,342	4,380	3,780	113.1%	86.3%
(売上比)	3.5%	4.3%	3.9%	—	—

- 生産プラットフォーム化の推進により、型数の絞込みとロットの集約による調達先の集約を図っており、AWより店頭への供給が行なわれるようになり、またプロパー販売に注力したこともあり、粗利率は前期比1.1ポイント改善。特に、下半期は前年同期間比2.4ポイント改善し、前年同期間比約12億円の利益寄与があった。

1. 株式会社パルホールディングス(旧(株)パル)の状況

単位:百万円

	2016年2月期	2017年2月期
売上高	95,315	49,992
営業利益	6,137	3,991
経常利益	6,077	3,954
当期純利益	3,342	2,300

2. 株式会社パルの状況

単位:百万円

	2016年2月期	2017年2月期
売上高	—	49,240
営業利益	—	2,670
経常利益	—	2,575
当期純利益	—	1,479

単位:百万円

	2016年1月期 実績	2017年1月期 実績	前年比
売上高	9,666	9,511	98.4%
営業利益	252	195	77.4%
経常利益	267	208	77.9%
当期純利益	232	177	76.3%

- (株)パルグループホールディングス宛経営指導料・業務委託費94百万円を販管費に計上しているため、見かけ上は減益となっているが、実質的な営業利益は11.9%の増益となっている。
特に、ネット通販がプロモーション効果を生み、実店舗への誘導を図ることができるなどにより、年度後半から利益率が改善したため、第3四半期以降での比較では、営業利益は前期比42.3%増となった。

セグメント別売上高実績及びEC売上高の状況

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

		2016年2月期	2017年2月期	前年度比
衣料				
	売上高	86,197	85,097	98.7%
	構成比	75.3%	73.1%	
	営業利益	4,404	3,827	86.9%
	営業利益率	5.1%	4.5%	
雑貨				
	売上高	28,073	31,212	111.2%
	構成比	24.5%	26.8%	
	営業利益	1,386	2,308	166.5%
	営業利益率	4.9%	7.4%	
その他				
	売上高	139	147	105.8%

		2016年2月期	2017年2月期	前年度比
EC売上高				
	ZOZO TOWN	2,476	4,061	164.0%
	自社PALCLOSET	1,161	1,343	115.7%
	その他	1,868	1,854	99.3%
	合計	5,505	7,258	131.8%
	対衣料売上高比率	6.4%	8.5%	2.1P

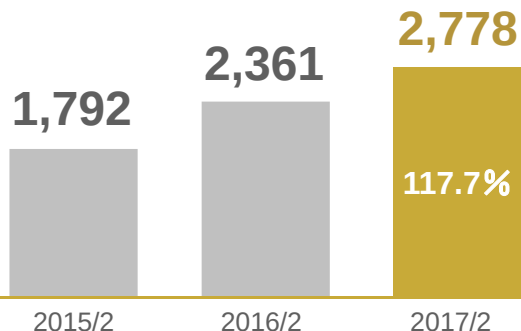
- EC売上は大幅に伸び、目標の70億円をクリア。雑貨事業は、順調に業容拡大し、大幅な増益。

主なブランド

PAL GROUP HOLDINGS

売上高

単位:百万円



Kastane

アメリカンクラシックをベースとし、
世代・性別を超えたリアルスタイルの提案。
今の気分をmixしたマイルスタイルの発見。

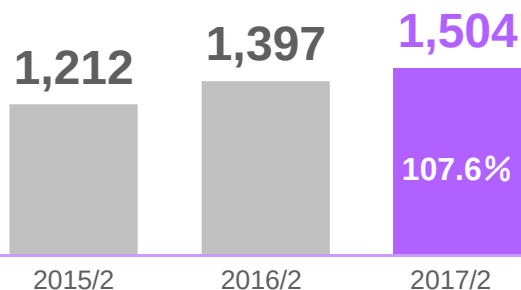
カスタネ

店舗数 18店舗



売上高

単位:百万円



Lui's

モテる男のワードローブをテーマに
モード&ストリートのMIXコーディネート提案。
着心地、カッティング、素材感を重視した商品を
国内外問わず編集し発信していく。

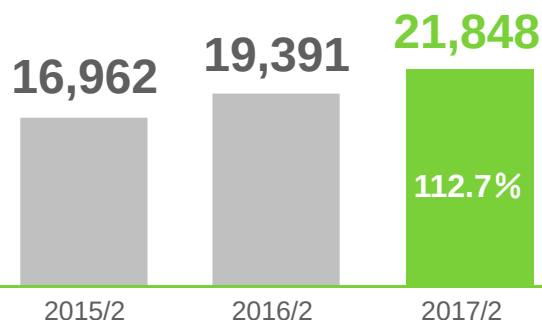
ルイス

店舗数 10店舗



売上高

単位:百万円



3COINS

何度でも行きたくなる！いつ行っても発見がある！
ワクワク・ドキドキがたくさん詰まったHAPPY STORE
3COINSは、あなたのちょっと“幸せ”をお手伝いする雑貨店です。
キッチン・バス・インテリア・靴下・アクセサリなどの商品を、ベーシックなものから楽しくなるようなカラフルな色使いのものまで、300円を中心とした雑貨を幅広く取り揃えています。

3コインズ

店舗数 168店舗



販売費及び一般管理費

PAL GROUP HOLDINGS

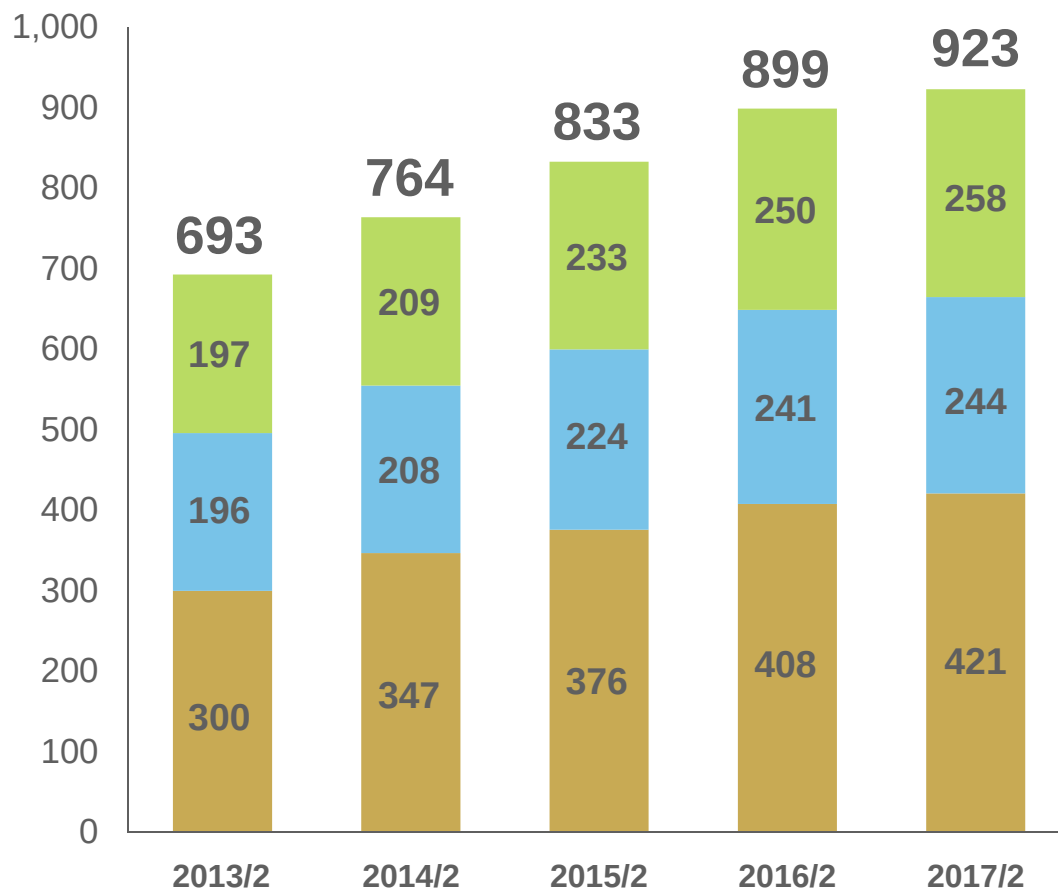
単位:百万円

	2016年2月期	2017年2月期	前年度比
単体	46,946	48,802	104.0%
連結	57,023	59,139	103.7%
販管費比率(連結ベース)	49.8%	50.8%	1.0P
人件費比率	18.6%	19.4%	0.8P
賃料比率	16.9%	17.1%	0.2P
広告宣伝費比率	0.9%	0.4%	△0.5P

- 人件費率比率が0.8ポイント、賃料比率が0.2ポイントそれぞれ増加したことを主因に、販管費比率は、1.0ポイント増加した。ただし、広告宣伝費は、紙媒体を主体に抑制し、0.5ポイント減少した。
- 売上が未達であったことで、販管費比率は増加したが、出店抑制策の効果等で、下期単独では50.2%と、上期の51.4%から1.2ポイント減少している。

期末店舗数923店舗 (前期末比24店増)

■ その他地方
■ 関西圏
■ 関東圏



● 出店状況

新規出店が65店舗、退店が41店舗。前期末比24店舗の純増となった。(別途業態変更3店舗) 上海への新規出店1店舗。

● 各ブランドの出店状況

出店が多かったのは、3 Coins 10店舗(海外1店舗含む)。効率化を図るため、出店を抑制的にし、退店も効率重視で進めた。

特別損益

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

	2016年2月期	2017年2月期
負ののれん発生益	552	—
特別利益合計	552	—
固定資産除却損	230	170
リース契約解約損	17	4
減損損失	560	649
その他	6	—
特別損失合計	816	823

- 2016年2月期は株式会社ナイスクラブの完全子会社化に伴う507百万円と「ASOKO事業」の事業譲受に伴う45百万円、合計552百万円の負ののれん発生益を計上。

連結貸借対照表

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

	2016年2月期	2017年2月期	前期末比増減	備考
流動資産	50,675	51,288	613	
現金及び預金	35,174	35,959	785	
売掛金	5,138	5,178	40	
たな卸資産	9,149	8,606	△543	
その他	1,214	1,545	331	
固定資産	26,242	25,794	△448	
有形固定資産	10,493	9,903	△590	
無形固定資産	315	398	83	
投資その他の資産	15,433	15,492	59	
資産合計	76,918	77,083	165	
流動負債	27,463	27,685	222	
固定負債	13,401	11,807	△1,594	
負債合計	40,865	39,492	△1,373	
純資産合計	36,053	37,590	1,537	自己資本比率 48.8%
負債資本合計	76,918	77,083	165	

- 4週間MDの徹底により在庫コントロールを効かせた結果、たな卸資産残高は純減。

連結キャッシュ・フロー計算書

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

	2016年2月期	2017年2月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,308	5,160
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,171	△1,531
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,849	△2,844
現金及び現金同等物の増加(減少)額	△8,328	784
現金及び現金同等物の期首残高	43,503	35,174
現金及び現金同等物の期末残高	35,174	35,959

2018年2月期 連結・(株)パルグループホールディングス単体＋(株)パル業績の見通し

PAL GROUP HOLDINGS

単位：百万円

1. 連結

	2017年2月期	2018年上期	2018年下期	2018年2月期	前期比
売上高	116,457	60,650	63,230	123,880	106.4%
売上総利益	65,303	34,370	36,310	70,680	108.2%
販売管理費	59,139	30,890	31,770	62,660	106.0%
営業利益	6,164	3,480	4,540	8,020	130.1%
経常利益	6,044	3,390	4,460	7,850	129.9%
特別損益	△823	△620	△330	△950	115.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,071	1,520	2,540	4,060	132.2%
粗利率	56.1%	56.7%	57.4%	57.1%	

2. (株)パルグループホールディングス単体 ＋(株)パル

	2017年2月期	2018年上期	2018年下期	2018年2月期	前期比
売上高	97,617	50,940	53,240	104,180	106.7%
売上総利益	55,464	29,240	30,615	59,855	107.9%
販売管理費	48,802	25,750	26,235	51,985	106.5%
営業利益	6,661	3,490	4,380	7,870	118.2%
経常利益	6,530	3,410	4,300	7,710	118.1%
特別損益	△694	△300	△300	△600	86.5%
当期純利益	3,780	1,950	2,530	4,480	118.5%
粗利率	56.8%	57.4%	57.5%	57.5%	

- マーケットに即した価格戦略商品を引き続いて投入するとともに、EC売上の強化によって売上を伸ばしていく。
- 生産プラットフォームと4週間MFの定着により、在庫コントロール強化を図り、粗利率を改善。

2018年2月期 業績見通しの前提

PAL GROUP HOLDINGS

1. 店舗数の状況

()内、現時点の確定数

	2016年2月期	2017年2月期	2018年2月期 (現時点の各定数)
新規店舗数	127	65	28
退店店舗数	61	41	23
店舗数純増	66	24	5
期末店舗数	899	923	928

2. 既存店売上の状況 (パルグループ各社の合計)

	2016年2月期	2017年2月期 上期累計実績	2017年2月期 下期累計実績	2017年2月期 通期実績	2018年2月期 計画
既存店売上推移	96.9	94.8	94.9	94.7	103
うち小売既存店売上高	96.9	92.7	93.3	93.0	100
うちネット通販既存店売上高	—	118.7	133.3	126.9	137

	2016年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
既存店売上推移	94.3	98.7	94.3	93.5	97.0	91.1	90.3	98.2	99.0	95.4	90.3	97.9
うち小売既存店売上高	92.8	94.8	91.5	92.4	94.9	89.4	88.4	98.9	95.7	94.5	89.5	92.9
うちネット通販既存店売上高	112.3	117.3	140.2	109.4	116.8	119.2	147.5	125.0	145.0	138.5	128.8	118.1

3. 全店売上の状況

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	上期計	9月	10月	11月	12月	1月	2月	下期計	通期
全店売上	103.9	106.7	103.6	101.5	105.5	100.2	103.6	98.9	108.1	110.4	96.5	95.1	100.3	101.3	102.4
うちEC	129.1	132.2	147.6	115.4	133.2	127.0	130.2	152.8	131.2	152.7	148.1	139.1	118.8	141.1	136.3

4. 客数、客単価の推移

	客単価前年度比	客数前年度比
衣料事業	96.4%	93.4%
雑貨事業	100.4%	97.9%
全体	97.5%	97.1%

SMILE
IS
POWER.

PAL GROUP HOLDINGS

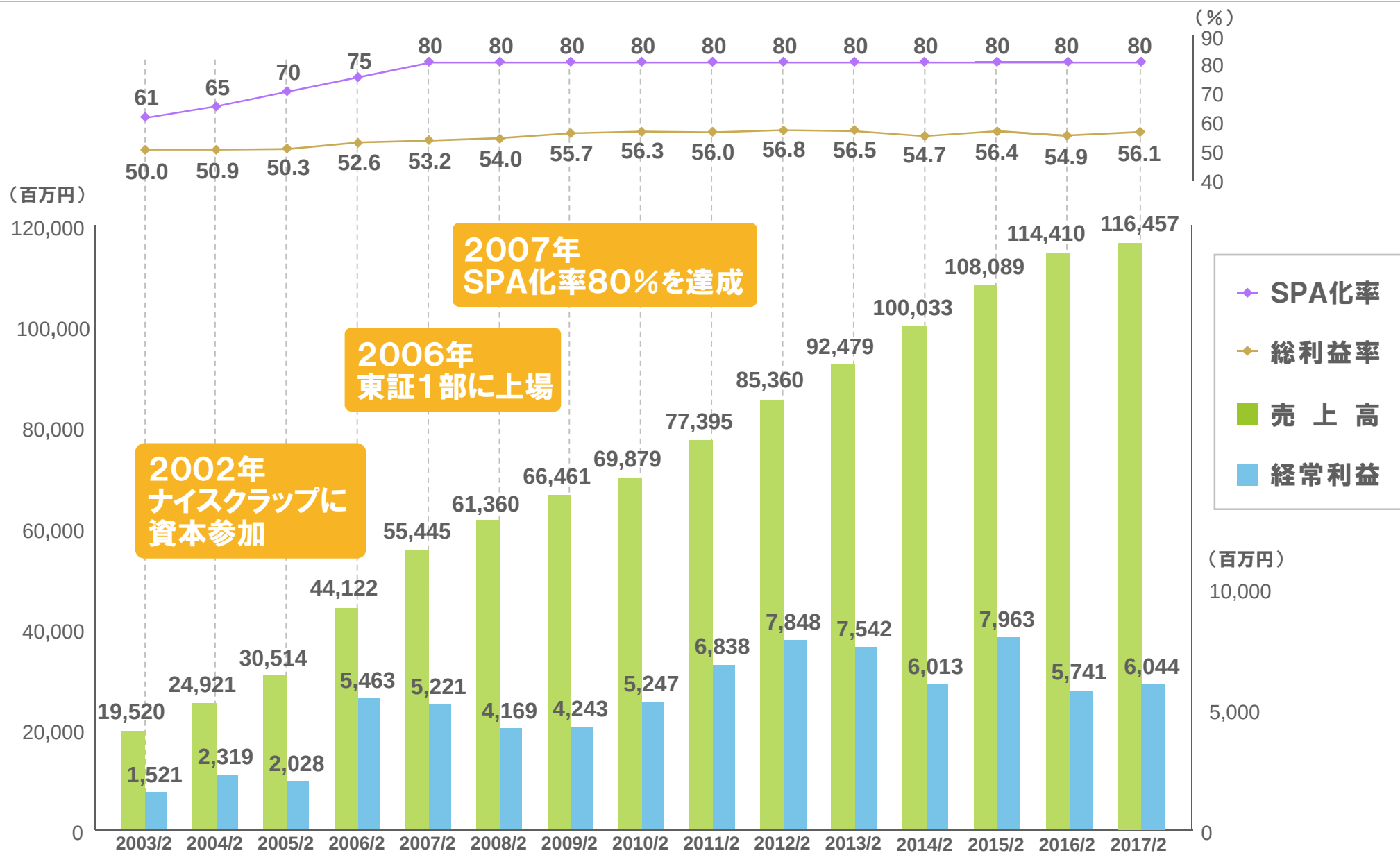
経営ビジョン

業績推移
中長期ビジョン



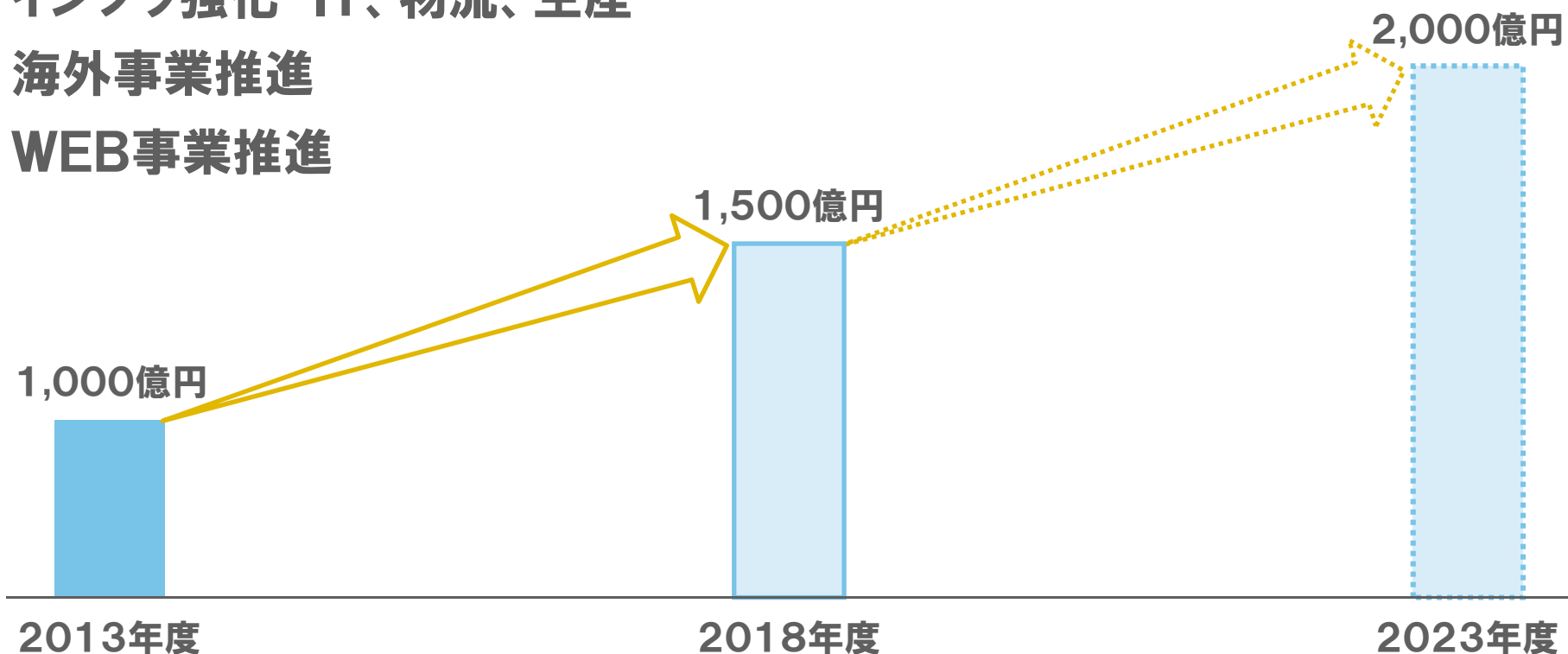
業績推移

PAL GROUP HOLDINGS



事業戦略

- 『パル流』経営のグループ会社への一層の浸透・・持株会社体制へ移行
- 新規ブランドの創設（社内提案、社外コラボ、M&Aなど）
- インフラ強化 IT、物流、生産
- 海外事業推進
- WEB事業推進



SMILE
IS
POWER.

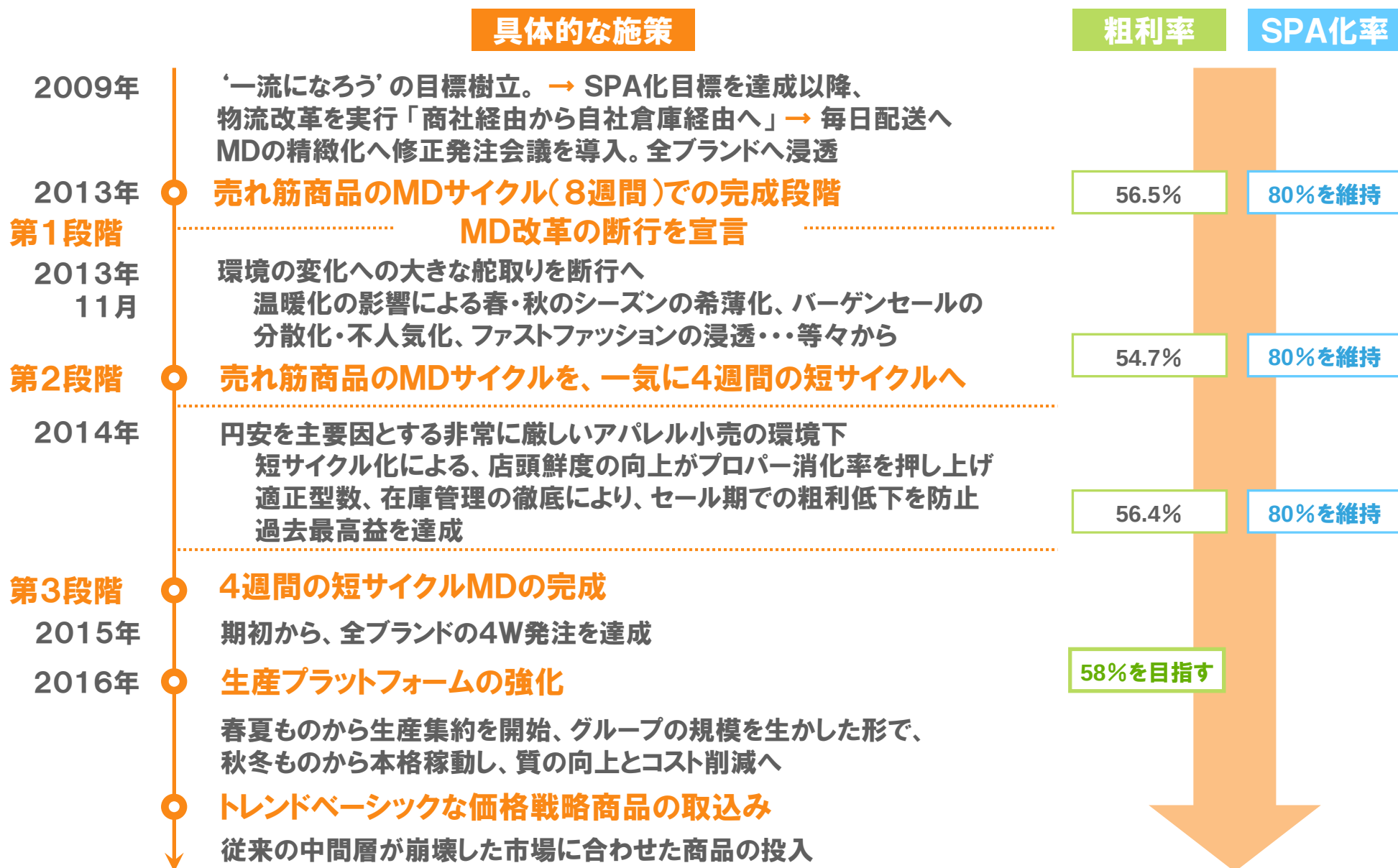
PAL GROUP HOLDINGS

トピックス

1. MD改革の進捗について
2. ラシット世界戦略の第1歩
3. (株)ルミネとの協業ブランド「シーナリー」
ルミネ新宿・ルミネ池袋に初出店
4. EC販売強化

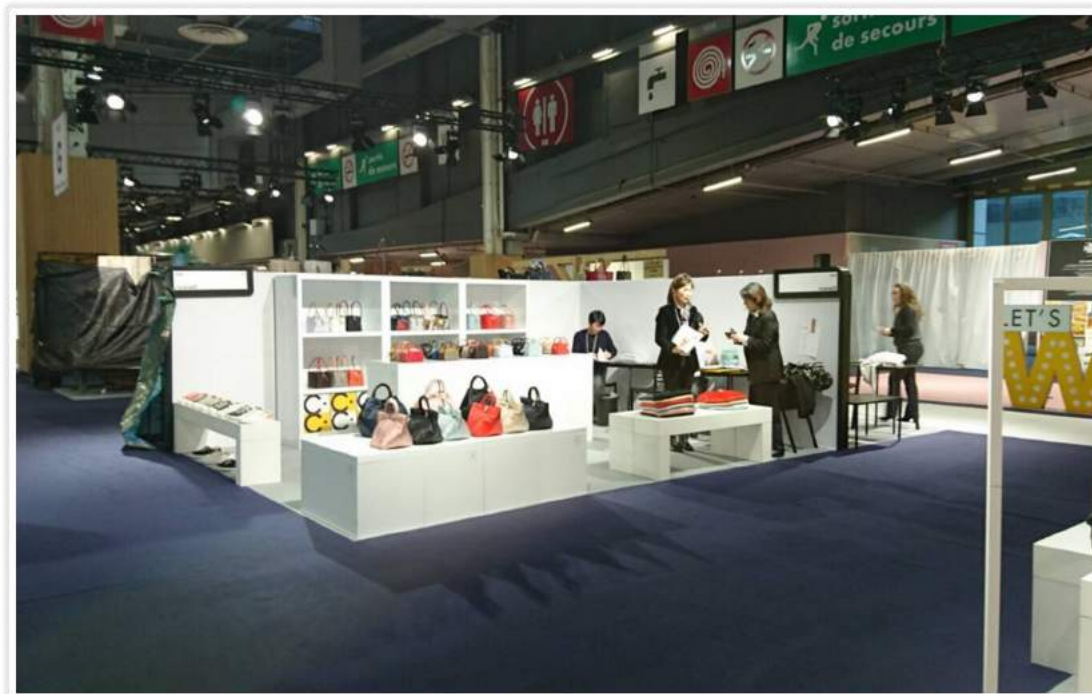


1. MD改革の進捗状況



2. ラシット世界戦略の第1歩

- ラシットが、フランス・パリの展示会に出品し、グローバルブランド化へと一歩を踏み出しました。欧米の百貨店等から多くの引き合いがあり、手ごたえを感じています。



3. (株)ルミネとの協業ブランド「シーナリー」ルミネ新宿・ルミネ池袋に初出店 PAL GROUP HOLDINGS

- (株)ルミネとの初の協業ブランドとなる「シーナリー」が、2017年2月にルミネ新宿ルミネ2およびルミネ池袋に相次いで出店いたしました。同ブランドは、「青文字系ブランド」を卒業した20代後半から30代前半をターゲットに、「きれいめ大人カジュアル」市場を開拓していきます。

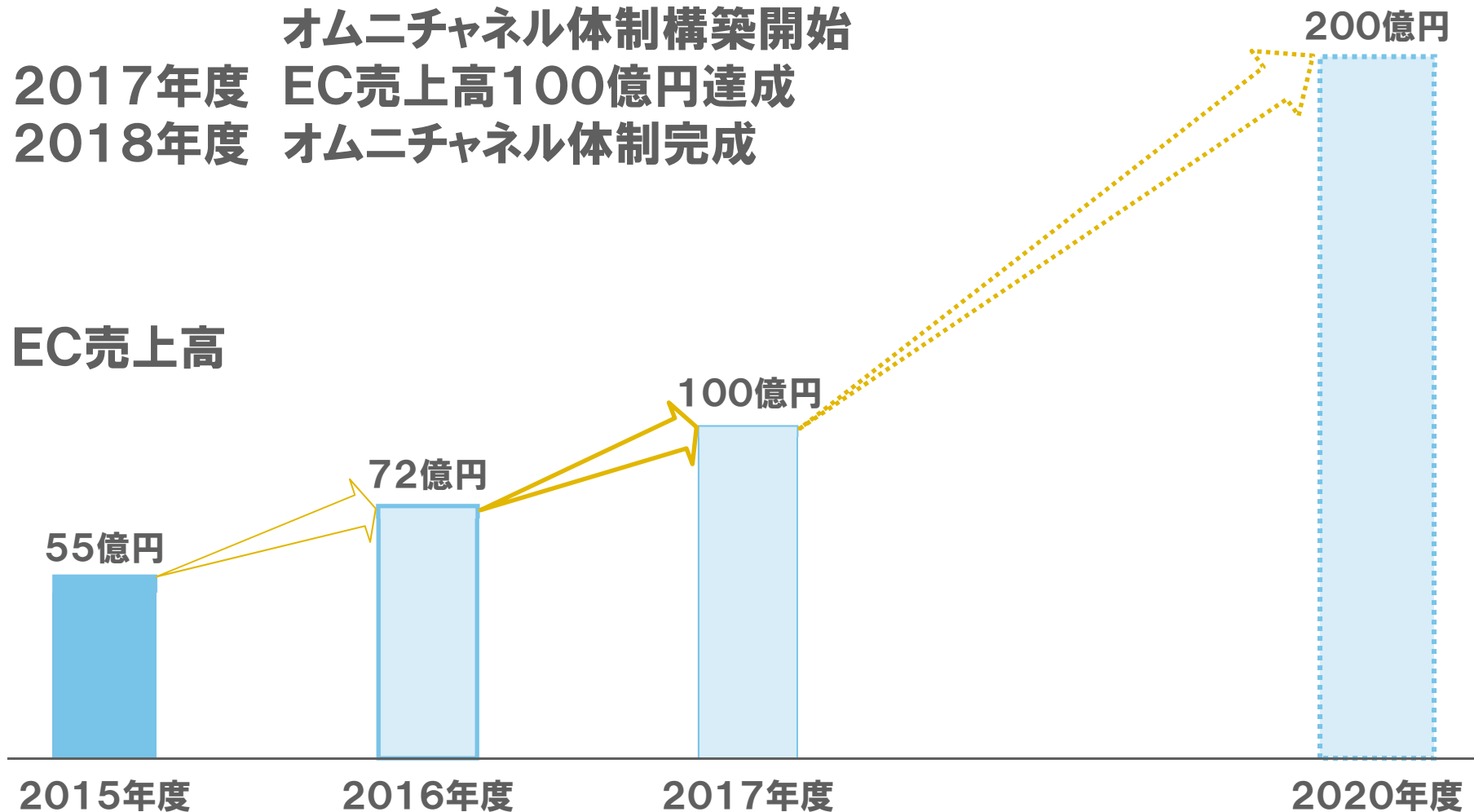


4. EC販売強化

戦略スケジュール

- 2016年度 EC強化、自社サイト運営の内製化
オムニチャネル体制構築開始
- 2017年度 EC売上高100億円達成
- 2018年度 オムニチャネル体制完成

● EC売上高



4-① . オムニチャネル対応

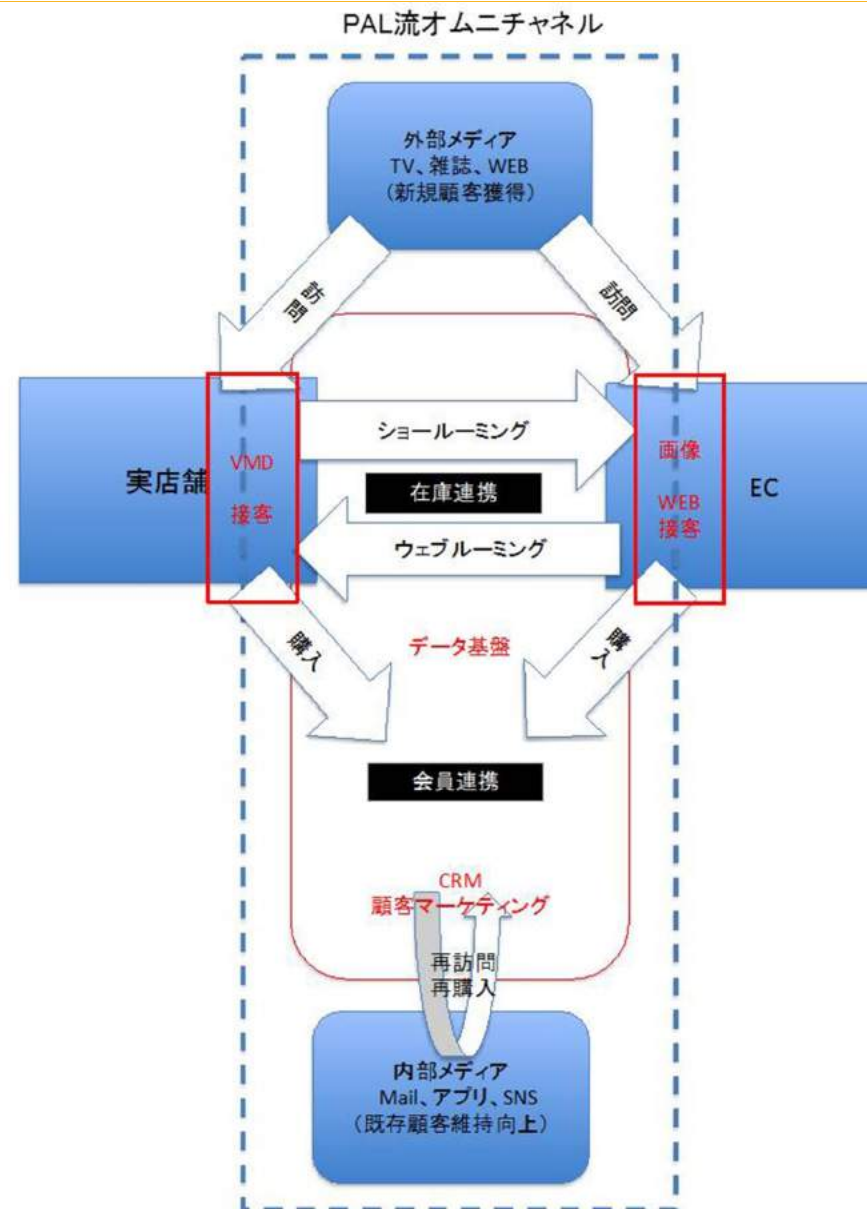
戦略指針

● 出店状況

2018年までに、実店舗とECを連携させ、相互に成果を還元する『PAL流オムニチャネル』体制を完成させる。

● 各ブランドの出店状況

ブランド、店舗（実店舗・EC）、顧客マーケティングを磨き、2020年EC売上高200億円突破を成果目標とする。



SMILE
IS
POWER.

PAL GROUP HOLDINGS

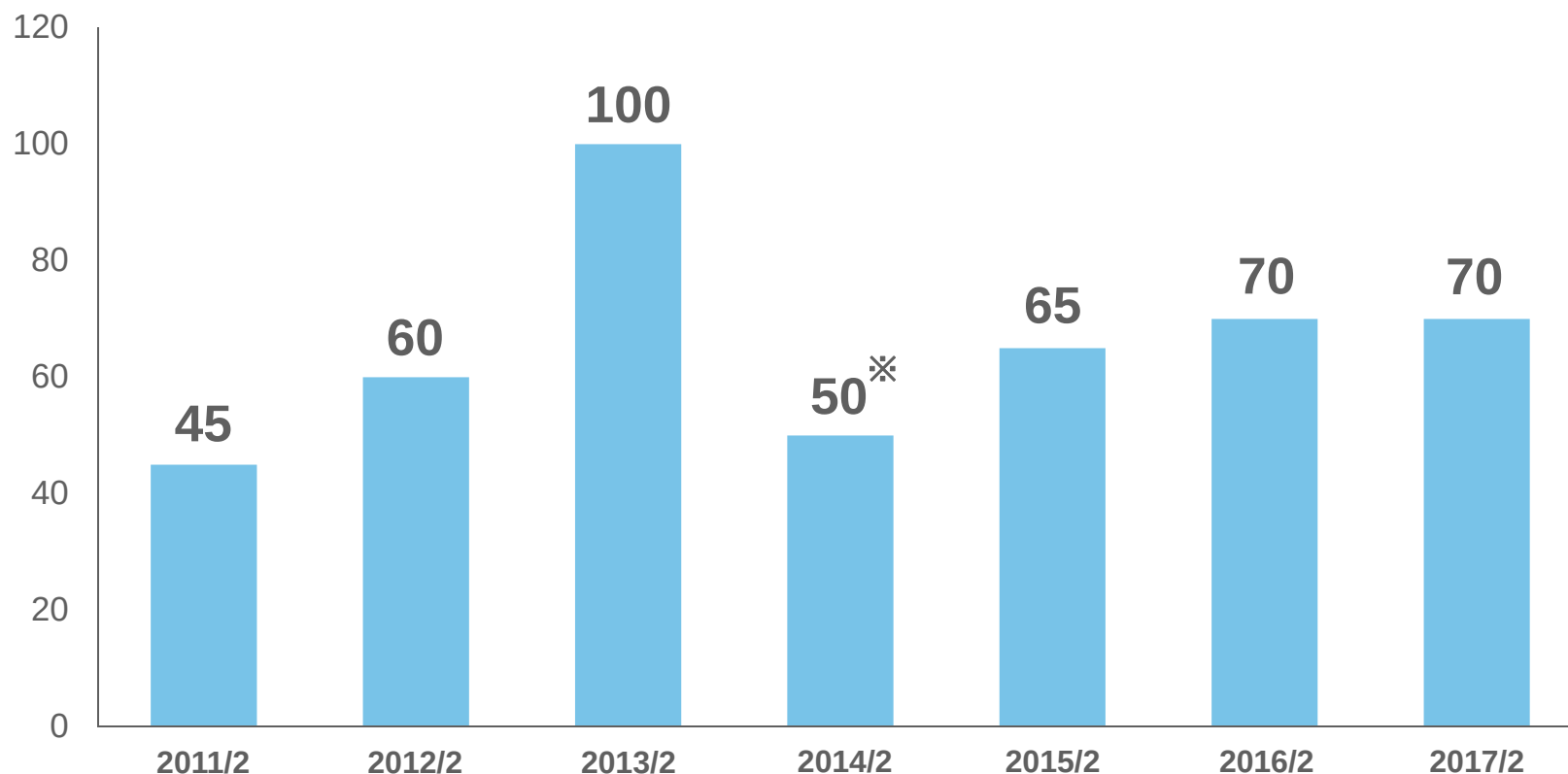
株主様への対応

1. 株主還元(配当について)
2. 株主優待制度について
3. CSRへの取り組みについて



1. 株主還元策について

- 安定配当を継続することを利益還元の基本方針とする
- 当期末の1株当たりの配当は、70円とする(前期比増減無し)



※2013年3月1日を効力発生日として、1株を2株にする分割を実施済み

2. 株主優待制度について

『パルグループ全体の販売を促進する内容』で、導入を決定

当社株式の投資魅力を高めることで、新規の個人投資家様の拡大へ繋げると共に、中長期の保有を促進することを目的といたしまして、株主優待制度を導入いたしました。

優待制度の内容

● 対象となる株主様

毎年2月末日現在の当社株主名簿に記載または記録されている100株（1単位）以上を保有されている株主様を対象といたします。

● 株主優待の内容

保有株式数に応じて、以下の3つの割引優待を選択出来る共通割引優待券を付与することとし、その利用期間は、毎年6月1日から翌年5月31日までとします。

- ①全国の当社グループ店舗でのご購入代金の15%を割引
- ②当社ECサイト「PAL CLOSET ONLINE STORE」でのご購入代金の15%を割引
- ③当社の関係子会社である株式会社フリーゲート白浜が和歌山県西牟婁郡白浜町にて運営する宿泊施設「浜木綿くろしお山荘」及び「フリーゲート白浜」での宿泊コース料金の50%を割引

● 優待券の付与枚数

所有株式数	100株以上	200株以上	500株以上	1,000株以上
付与枚数	2枚	4枚	6枚	10枚



3. CSRへの取り組みについて

(1)当社の経営理念は、『社員と株主みんなの幸せのための経営』

当社にとってのCSR（Corporate Social Responsibility＝企業の社会的責任）とは、継続的に利益を上げ、税金を払い、雇用を継続するという企業の存在意義に関わることを超えて、企業として『少しでも世の為、人の為になっているか』という社会貢献、地域貢献に関わることを考えています。



3. CSRへの取り組みについて

(2) 『障がい者の運営する』 全国初のホテル、旅館を全面支援

当社は、2011年6月より、障がい者雇用を目的としたホテル『フリーゲート白浜』を運営してきましたが、近隣の宿泊施設を買収し、料理旅館『浜木綿くろしお山荘』として、事業を拡大し、営業を開始しました。

両施設とも、従業員の大半が障がいを抱えており、ホテルや旅館業のようなサービス業での雇用は、全国でも珍しいケースとなっていますが、当社での接客ノウハウを伝えながら、障がいのある人が自分たちで考えて、仕事を完結できるようにしています。



浜木綿くろしお山荘

▶ www.hamayu-kuroshio.com

3. CSRへの取り組みについて

(3) 『公益財団法人パル井上財団』での人材育成

当社は、社会貢献の一環として、創業一族である井上ファミリーと共に、『一般財団法人パル井上財団』を設立し、公益財団として内閣府より認可を受けております。将来、ファッション産業や関連する分野に貢献しうる有用な人材を育成したいという趣旨から、学業・人物共に優秀で、経済的理由により修学が困難な学生に対し、奨学金を給付することを目的としています。40名を超える、全国の総合大学及び、服飾系の大学・専門学校の学生（留学生を含む）に、奨学金を給付していく事業を、開始致しました。

『公益財団法人パル井上財団』
Webサイト

トップページ



パル井上財団

社 是

「常に新しいファッションライフの
提案を通して社会に貢献」

グループ 経営理念

「社員と株主みんなの
幸せのための経営」

社 名 株式会社 パルグループホールディングス

所 在 地 【本社所在地】 大阪府大阪市中央区北浜3-5-29 日生淀屋橋ビル4F
【東京本社】 東京都渋谷区神宮前6丁目12-22 秋田ビル4F

代 表 者 井上 隆太

資 本 金 31億8,120万円

設 立 1973年10月

事業内容 婦人服・紳士服・雑貨等の企画・製造及び卸・小売

従業員数 グループ合計3,134名

店 舗 数 923店舗

2017年2月末現在

経営企画室

TEL 06-6227-0308

FAX 06-6231-1056

本資料に記載されている、計画、戦略、予想などのうち、歴史的事実でない情報は将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは異なる結果となる可能性があることをご了承ください。

また、本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定はご自身のご判断において行われるようお願いいたします。